

学校評価シート

1、園の教育目標

年長	色々な場面に応じた行動を考え、自主性と協調性を持って集団生活を送る
年中	保育者や友だちとの関わりの中で自分を発揮し、色々な活動に意欲的に取り組む
年少	様々な活動に興味、関心を持ち友だちと触れ合いながら楽しく過ごす

2、具体的な目標や計画

主体的に遊びや生活に取り組む中で、生涯にわたって学んだり集団生活を送ったりするうえでの基盤を形成していく

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
指導計画の作成は目標に添っていたか、又達成されていたか	A	主体性を重んじ育む目標は各学年の成長度合いをみながら月案として計画し指導していった。個人差が大きく保育者の介入が必要な場面も多々あったが疑問をなげかける事で本人の考えや思いを引き出すよう努めた。
主体性を育む為の体験が充分に行われていたか	B	コロナの影響で例年通りの行事を計画する事は出来なかったが、その都度工夫しながら可能な限りの態勢で行ってきた。子ども達なりに、そうした環境に順応出来ていたと思う。
周囲との関係の中で、子ども自身で自覚して考え行動できていたか	A	年齢による差はあるが予期せぬ出来事にも自力で対応できる場面も多くなってきた。その際、保育者は過剰な援助にならないよう留意しながら接することを心掛けた。
昨年同様コロナ感染対策を徹底し、子ども自ら自主的に行えていたか	A	室内、おもちゃ、通園バス等の消毒・換気は従来通り徹底した。又、パーテーションも新たに取換え予防に努めた。子ども達も感染予防の対策が自然にできていた。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	社会的事件（バス置き去りや、子どもの虐待等）からの学習対応を全職員で話し合い精査していった。共通理解として認識していたが欠席確認（連絡のない欠席者）の行き違いが2件あった。その反省から記録帳に時間、確認者名を記すことで各自が責任を持って行うよう取り決めた。小さなミスが大きな事件になってしまう事もありうるので気を引き締めて努めていかねばと思う。

○結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
コロナ対策の見直し	コロナの受け止め方も少しずつ緩和の方向にあるので、行事の見直しや楽器の取り組み方（特にハーモニカや鍵盤ハーモニカ）もコロナ前の状況に徐々にもどしていければと思う。保護者の理解も必要になってくるので十分な説明も心掛けていきたい。
記録の点検確認の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・バスコースの確認は年2回行っていたが記録として残すよう点検表を作成し、かつ学期ごとに行う事とする。 ・欠席者（連絡なしや迎えの変更）の確認がしっかり行われたか記録帳を作成し、連絡ミスがないように努める。